

シラバス参照

動物生態学

科目コード	2697769	授 業 概 要	【授業内容】 この授業は動物生態学の基礎から応用までを学ぶ。特に、哺乳類や鳥類を対象とした長期生態モニタリングの事例を通して、フィールド生態学が生態学の発展にどのように貢献してきたか、継続することによって得られる意義について重点的に講義する。また、市民科学や博物館の生態学や生物保全における重要性も解説し、受講生の日々の生活と生態学の相互関連を伝えていく。
学習センター	高知学習センター		【到達目標】 ・動物生態学の基本的な内容を理解し、自然や動物の行動や個体数の変化を生態学的な単語や現象としての確に説明できるようになる。 ・国内外での先進的な動物生態の研究事例を学び、動物生態学の理論を自然現象に当てはめて説明できるようになる。 ・博物館やSNSが生態学と社会のつながりを生む重要な場所やツールとなっていることを理解し、実生活でも活かせるようになる。
学習センターコード	39A		【授業テーマ】 第1回 ガイダンスおよび生態系モニタリングの基礎 第2回 行動生態学 第3回 個体群生態学 第4回 動物の行動と個体群をつなげる長期モニタリング①:カナダユーコンのキタリス 第5回 動物の行動と個体群をつなげる長期モニタリング②:スコットランドのアカシカ 第6回 市民科学①:iNaturalistsなど 第7回 市民科学②:学生主導の野生動物生態調査 第8回 博物館が生態学や生物保全に果たす役割&レポート
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 大学でしか学べない、知れないことを講義します。 授業中の質問は大歓迎です。
科目名	動物生態学		【受講前の準備学習等】 ・生態学の教科書を読んだり、インターネットで生態学の基礎を調べておいてください。 参考教科書(授業内容はこれらの教科書に沿うものではないです) ・小説みたいに楽しく読める生態学講義、中田兼介、羊土社、2025 ・未来を生きるすべての人の教養の生態学、日本生態学会編、東京化学同人、2025 ・生物多様性と生態学—遺伝子・種・生態系、宮下直ほか、朝倉書店、2012
科目区分	専門科目:自然と環境		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	320		【教科書】 教科書は使用しません。
定員	20名		【その他(特記事項)】
担当講師	トミタ カンジ 富田 幹次 (高知大学助教)		
日程 実施時間	2026年12月05日(土)第1時限 09:50~11:20 2026年12月05日(土)第2時限 11:30~13:00 2026年12月05日(土)第3時限 14:00~15:30 2026年12月05日(土)第4時限 15:40~17:10 2026年12月06日(日)第1時限 09:50~11:20 2026年12月06日(日)第2時限 11:30~13:00 2026年12月06日(日)第3時限 14:00~15:30 2026年12月06日(日)第4時限 15:40~16:25 2026年12月06日(日)試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	この授業は、【高知学習センター】で行います。		

閉じる